

畜産試験場・試験研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名

大課題名： 畜産物の品質改善

小課題名： 鶏肉のおいしさ要因の解明と栄養飼料調整による生産技術の開発

担当者名： 養鶏科

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	わが国における鶏ムネ肉とモモ肉に対する消費者ニーズの差は著しく、ムネ肉のおいしさなどの肉質向上への社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	トレハロースやオリゴ糖などのプレバイオティックスを活用しておいしさなどの肉質向上を目指した研究は少なく、新規性は高い。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	目的達成に向けて道筋が明確な研究構成となっており、各分野の専門家が所属する研究機関とうまく連携が取れていると判断できる。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	5 / 5	これまでの研究経験を活かせる内容となっており、共同研究機関の担当部分も含めて研究手法に問題はないと判断できる。
5 成果の期待度	5 / 5	トレハロースを活用した肉質向上については、一部成果が得られ、県内で利用されている。本研究課題についても期待度が高い。
総合評価	5 / 5	課題の必要性、新規性が高く、目標達成に向けての研究内容・研究手法などの検討も的確になされており、その成果への期待度も高いと評価できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

課題の必要性、新規性が高いとの評価をいただいたので、課題評価委員の御意見やコメントを参考にし、今後計画どおりに試験を行っていく。

畜産試験場・試験研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名

大課題名： 畜産物の品質改善

小課題名： 養鶏用飼料原料（飼料用米等）の有する機能性成分の鶏卵生産への効果

担当者名： 養鶏科

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	国際穀物価格は様々な要因により乱高下や高止まりしており、自給穀物の検討は急務である。飼料用米研究に対する社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	これまで飼料用米利用の研究は行われてきているが、さらに、その機能性成分の活用を研究するという点で新規性は高い。
3 目的・内容の整合性、妥当性	4 / 5	これまでの知見が整理されており、内容は充実しているが、機能性成分の利活用と暑熱対策など目的が豊富であり、若干の整理が必要。
4 研究手法の的確性、技術的可能性	5 / 5	これまでの研究経験があり、研究手法などの技術的な面に問題はない。共同研究体制についても問題ない。
5 成果の期待度	5 / 5	国レベルでの飼料用米利用拡大の方針もあり、養鶏産業における飼料用米活用の要望は強く、本課題の成果に対する期待度は高い。
総合評価	5 / 5	課題の必要性、新規性が高く、目標達成に向けての研究内容・研究手法などの検討も的確になされており、その成果への期待度も高いと評価できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

飼料用米の活用の要望が高い事から本課題の目的を整理し、飼料用米等の機能性成分の鶏卵への移行およびその利活用について調査検討していく。

畜産試験場・試験研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名

大課題名： 鶏の飼養管理技術の改善

小課題名： LED単波長を利用した効率的鶏肉生産技術の開発

担当者名： 養鶏科

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	LED単波長光は、様々な産業分野で活用法が開発されてきており、畜産分野においてもその活用が大いに期待され、社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	これまで明暗の時間など光環境の研究は多いが、光の波長に関する研究は少なく、特に単波長の研究は皆無である。新規性は高い。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	広く国内外の関連知見を集め、さらに予備試験なども実施されており、目的達成のための的確な研究内容となっている。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	5 / 5	予備試験の段階で必要な研究手法が検討され一定の成果を上げており、技術的な可能性は高い。
5 成果の期待度	5 / 5	LEDという他分野でのテクノロジーの発展を活用するということで、畜産分野の新たな技術革新に繋がると期待できる。
総合評価	5 / 5	課題の必要性、新規性が高く、目標達成に向けての研究内容・研究手法などの検討も的確になされており、その成果への期待度も高いと評価できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

LED単波長光に関する畜産分野への研究は少なく、今後その活用が期待されているため、畜産分野の新たな技術革新に繋がるよう試験研究を進めていく。